

令和5年度 第2回羽島市防災会議条例専門部会 会議要旨

日時	令和5年9月26日(火) 19時30分から		
場所	羽島市役所 情報・防災庁舎2階 災害対策本部室		
出席者 <敬称略>	<p><b>【部会】</b></p> <p>部会長 岐阜大学地域減災研究センター特任准教授 村岡 治道</p> <p>部会員 羽島市消防団長 泉 徳行</p> <p>部会員 羽島市自治委員会長 小森 博昭</p> <p>部会員 羽島市水防団長 小林 静雄</p> <p>部会員代理 羽島市防災研究会会長 服部 憲雄</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>危機管理課課長 浅野 貴久</p> <p>危機管理課課長補佐 田島 裕史</p> <p>危機管理課防災係長 大橋 正和</p>		
内容	<p>1 <u>開 会</u></p> <p>2 <u>部会長あいさつ</u></p> <p>3 <u>報 告</u> ワークショップの開催状況について</p> <p>4 <u>議 事</u> 条例制定の方針について</p> <p><b>意見</b></p> <p>(部会員) 平日一番力になるのは、大人ではなく中学生だと思う。そのため、中学生の子どもたちに対して、防災意識等をしっかりと位置づけると、災害時に活躍してもらえと思います。</p> <p>(事務局) 子どもの防災教育を行ってほしいというような意見は確かにあります。少し掘り下げていきたいと思います。</p> <p>(部会員) ワークショップに参加した高齢者の理解度はどの程度なのか懸念しています。</p> <p>(事務局) 参加者それぞれだと思いますが、市の中で意見を組み立てて、詳しい広報を行う必要あると考えます。</p> <p>(部会員) 条例案制定にあたって、地域コミュニティは日頃から防災訓練を「行い」と書いてあり、「各自いろいろやってください」と書いてあるのは、これはもう条例としては予算的なもの</p>		

内容	<p>は全くないということなのかと懸念しています。</p> <p>(事務局)</p> <p>「まちづくり基本条例」も定まっており、それに基づいて行っていきます。この「まちづくり基本条例」は、全てが理念というようなイメージです。そのため、防災条例の中でも予算を具体的につけていくというところまでの具体策までは下ろしていかないと思います。</p> <p>(部会長)</p> <p>例えば、「耐震性を確認しましょう」で終わっていると安全確保になりません。羽島市の規則案等は、具体的な手順や行動を繋げて書いてあります。「耐震診断を受けて耐震化を図りましょう」という繋がりになって、「確認」で終わりではなく、防災効果の確保に繋がるような、しっかり組み立てにしてあります。この点は非常に良い内容であると確認しました。</p> <p><u>5 事務連絡</u></p> <p>第3回羽島市防災会議条例専門部会は、10月17日</p> <p><u>6 閉会</u></p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----	---